

一

次の一から三までの問いに答えなさい。

- 一 次のアからオまでのの——線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(現代かなづかいで書くこと。)
- ア 全校合唱の伴奏を担当する。
- イ ダイヤモンドの原石を研磨する。
- ウ 創作ダンスを披露する。
- エ この寺の創建は奈良時代にまで遡る。
- オ 岬から海を眺める。
- 二 次のアからオまでのの——線のひらがなを漢字で書きなさい。(丁寧な漢字だけを書くこと。)
- ア 学校から徒歩でできたくなる。
- イ えんげきの主役を務める。
- ウ にだいのついた自転車を買う。
- エ 学校から徒歩でできたくなる。
- オ 木の枝をなわで束ねる。

三 次の行書で書いた文字は、同じ文字を楷書で書いた場合と比較すると、どのような特徴があるか。次のアからエまでのの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

# 花鳥風月

- ア 「花」には筆順が変化した部分がある。
- イ 「鳥」には筆順が変化した部分がある。
- ウ 「風」には点画を省略した部分がある。
- エ 「月」には点画を省略した部分がある。

二

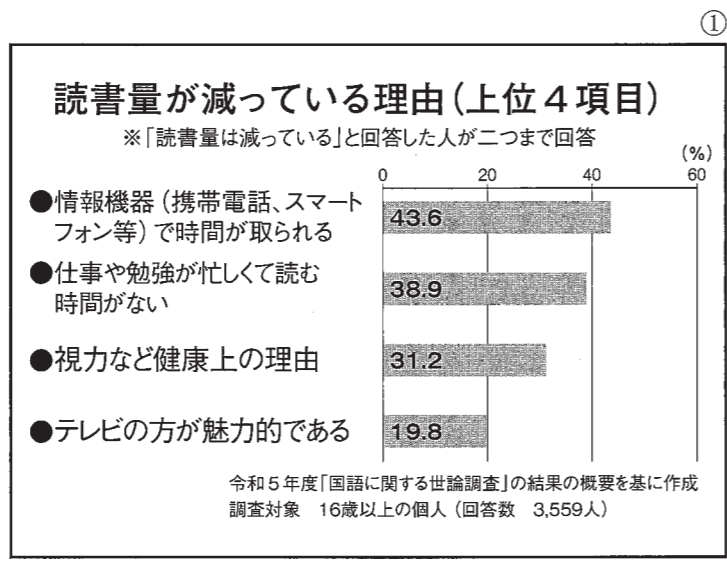
Aさんは、国語の時間に、社会生活の中から話題を決めて自分の考えを提案する学習に取り組んでいる。Aさんは、資料を提示しながら提案することとし、リハーサルを行った。次の、Aさんのリハーサルでの「話の内容」、提示する「資料」を読んで、後の一から三までの問いに答えなさい。

【話の内容】



著作権の関係により削除しました。

【資料】



②

### 中学生の現状

【質問】 普段(月曜～金曜)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

4時間～	3～4時間	2～3時間	1～2時間	0～1時間
16.4%	12.3%	19.8%	21.5%	29.3%

48.5%

【質問】 普段(月曜～金曜)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習やゲームをする時間は除く)

4時間～	3～4時間	2～3時間	1～2時間	0～1時間	持っていない
17.9%	14.2%	23.3%	23.5%	16.8%	3.4%

55.4%

令和6年度「全国学力・学習状況調査」報告書【質問調査】を基に作成  
調査対象 全国の中学3年生(回答数 904,424人)

③

### 私の提案

## ICTを活用して新しい読書生活を!

例えば

- ◆ 電子書籍の利用
  - ・自宅にいながら借りることが可能
- ◆ オンラインの活用
  - ・本の紹介カードなどを作成し、共有が可能

(注) ICT…パソコンや通信ネットワークなどの情報通信技術

一 【話の内容】におけるAさんの考えとして、最も適当なものはどれか。次のアからエまでのの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 中学生以上になると、ICT端末への依存度が高まっているため、小学生までは紙の書籍で読書をした方がよいということ。
- イ 年齢を問わず、読書の時間を確保しにくくなっているため、ICTを活用した読書に取り組んだ方がよいということ。
- ウ 年齢を重ねていくと、仕事や勉強が忙しくなるため、自宅での朝読書の時間を生活の中に位置づけた方がよいということ。
- エ 年齢に関係なく、多様な情報に触れにくくなっているため、子供も大人も様々な種類の書籍を読んだ方がよいということ。

二 リハーサルにおけるAさんの表現の仕方を説明したものととして、最も適当なものはどれか。次のアからエまでのの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 【資料】に調査結果をグラフで示して視覚に訴えけるとともに、自分の考えが明確に伝わるように、自分とは異なる考えと比較して提案している。
- イ 【資料】に調査結果の経年変化を示すとともに、自分の考えの根拠を強調して伝えるために、具体的な数値を取り上げて提案している。
- ウ 【資料】に調査結果と出典を示して情報の信頼度を高めるとともに、聞き手が話の展開を予想できるように、問いかけながら提案している。
- エ 【資料】に調査結果と自分の提案を示すとともに、聞き手の共感を得るために、予想される反論に対する対応策をつけ加えて提案している。

三 Aさんはリハーサルを振り返り、【話の内容】の——線の部分の後に一文をつけ加え、電子書籍を借りることの利点を具体的に伝えようと考えた。あなたがAさんなら、【話の内容】と【資料】を踏まえ、どのように話すか。三十五字以上、四十字以内の一文で話すように書きなさい。

著作権の関係により削除しました。

著作権の関係により削除しました。

一 A、B に入る言葉の組み合わせとして、最も適当なものどれか。次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア A—腕 B—心 イ A—胸 B—耳 ウ A—胸 B—心 エ A—腕 B—耳

二 次の [ ] は、ある学級で、「はい」と「はい！」について話し合ったEさんのグループの会話である。[ ] C、[ ] D にはそれぞれどのような言葉が入るか。[ ] C は本文中から七字でさがし、抜き出して書きなさい。[ ] D は五字以上、十字以内で書きなさい。

Eさん 先生の言葉に対して「C」という筆者の動作から、思っていた以上に簡単に音が鳴らないことを実感していることがわかります。  
Fさん 私も同感です。この場面での「はい」という返事から、何度打ってもイメージ通りに音が鳴らず、鼓から音を出すことの難しさを筆者が感じているのが伝わってきます。  
Gさん 一方で、「はい！」の方は、何度も領いていることから、感動の大きさがよりいっそう伝わってきますね。  
Eさん そうですね。感嘆符（！）がついて、大きな音が出たことに対する驚きと感動が込められているように思います。  
Fさん 筆者が「魔法みたい」と表現しているように、先生の言われたとおりに打つてみただけで、全く違う音になったことから、筆者の中で先生に対する [ ] D 様子を読み取ることができます。

三 うれしくなってしまう」とあるが、次の [ ] H、[ ] I にはそれぞれどのような言葉が入るか。  
[ ] H は五字以上、十字以内で書きなさい。[ ] I は先生の言葉という言葉を使って、十五字以上、二十字以内で書きなさい。

生徒によって鼓から鳴る音が変わるように、先生の言葉も生徒一人一人の感性に応じて [ ] H のだろうと感じていた筆者が、鼓を打ったところ、鳴った音を賞賛され、先生の言葉を体現できたことに喜びを感じている。

四 普段とは意味合いが違っていた」とあるが、筆者がこのように感じたのはなぜか。次のアからエまでの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 筆者の見聞や認識の幅を広げ、新たな世界へと導いてくれた先生に対して尊敬の念を抱いたから。

イ 鼓のお稽古を通じて、新しい自分の才能に気づかせてくれた先生への感謝の気持ちが高まったから。

ウ 鼓の技術だけでなく、「和」の世界の礼儀作法も徹底的に身につけてくれた先生の指導に恩義を感じたから。

エ 元来欲張りな筆者のことを素直だと評価し、筆者の人生を変えてくれた先生の先見の明に感服したから。

五 本文の表現の仕方について述べたものとして、最も適当なものはどれか。次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 体験の様子を起きた出来事の順番を入れ替えて表現することで、先生との出会いがかけがえのないものになったことを効果的に伝えている。

イ 場面に応じて敬体と常体を使い分け、先生と筆者との関係を描き出すことで、関係が次第に親密になっていったことを客観的に伝えている。

ウ 初めて体験した小鼓の世界を、色彩豊かな表現を多く用いて表すことで、お稽古の場が非日常の世界であったことを具体的に伝えている。

エ 指導の言葉とそのときの心情を織り交ぜてお稽古の様子を描くことで、この体験が忘れられない出来事になったことを印象的に伝えている。

四 次の文章を読んで、後の一から四までの問いに答えなさい。(点線部は現代語訳を表す。)

ある時、馬、野へ出て草を食みける所に、獅子王ひそかにこれを見て、「かの馬を食せん」と思ひしが、「まづ武略をめぐらしてこそ」と思ひ、馬の前にかしこまつて申しけるは、「御辺はこの程何事をかは習ひ給ふぞ。我はこのごろ医学をなんつかまつり候」となん申しければ、馬、獅子王の悪念をさとつて、「我も謀らばや」と思ひ、獅子王に向かつて申しける。「そもそも御辺は、うらやましくも医学を習はせ給ふものかな。幸わが足に株を踏み立ててわづらふなり。御覽じてたべかし」となん言ひける。獅子王得たりと見んと言ふ。さらばとて、馬片足をもたげれば、獅子王何心もなくあふのきになつて、爪のうらを見る所を、もとより巧みし事なれば、したたかに獅子王の面を続けさまに踏んだりける。さしも猛き獅子王も、氣を失ひて起きもあがらず。そのひまに、馬ははるかに駆け去りぬ。その後、獅子王はふと起きあがり、身震ひして、ひとりごとを申しけるは、「よしなきそれがしがはかり事にて、すでに命をうしなはんとす。道理の上よりもつて、いましめをかうぶる事、これ馬のわざにあらず、ただ天道の御いましめ」とぞ覚えける。  
そのごとく、一切の人間も、知らぬ事を知り顔に振舞はば、たちまち恥辱を受けん事疑ひなし。知る事を知るとも、知らざる事をば知らずとせよ。ゆるかせに思ふ事なかれ。  
〔日本古典文学大系 假名草子集〕「伊曾保物語」による。表記は問題用に改めた。

一 うしなはんとす を、音読するとおりにすべてひらがなで書きなさい。(現代かなづかいで書くこと。)

二 我も謀らばや とあるが、次の [ ] A、[ ] B にはそれぞれどのような言葉が入るか。十字以上、十五字以内の現代語で、それぞれ具体的に書きなさい。

馬は [ ] A ふりをして、獅子王が [ ] B ように策略を仕組んだ。

三 本文中の獅子王の言動を説明したものととして、最も適当なものはどれか。次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 馬が草を食べる様子を見て、自分も食べたいと思ひ、恐れ謹んで馬に懇願した。

イ 最近になって医学を学び始め、蓄えた知識を活用して、馬を診察しようとした。

ウ 馬の考えに気づいた後、馬が進むべき正しい道について、丁寧に教え諭しようとした。

エ 馬にだまされたものの、馬の行いを非難することなく、己の行いを反省した。

四 知らざる事をば知らずとせよ は、「論語」の一節に基づく表現である。「論語」では次の [ ] のように記述されており、「知らざるを知らずと為す」と読む。この読み方になるように、返り点をつけなさい。

不 知 為 不 知

五

【文章Ⅰ】

次の【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】を読んで、後の一から六までの問いに答えなさい。（\*は注を示す。）

著作権の関係により削除しました

(7)

著作権の関係により削除しました

【文章Ⅱ】

著作権の関係により削除しました

(8)

五

は、次のページに続きます。

- 一 A に入る言葉として、最も適当なものどれか。次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。
- ア 同様に      イ 一方で      ウ 具体的に      エ 従って

二 用の世界の意義 とあるが、【文章Ⅰ】では、用の世界にどのような意義があると述べられているか。【文章Ⅰ】の中から十七字でさがし、はじめの五字を抜き出して書きなさい。

三 茶碗を観るときは、それを両手で持っていていろいろな角度に動かし、いつまでも観ていらつしゃいました とあるが、次の  は、この行動を踏まえ、【文章Ⅰ】の「用の美」について述べたものである。  B、 C、 D にはそれぞれどのような言葉が入るか。  B、 C は、それぞれ三字で【文章Ⅰ】の中からさがし、抜き出して書きなさい。  D は、【文章Ⅰ】の中の言葉を使って、二十五字以上、三十字以内で書きなさい。

【文章Ⅰ】の「用の美」とは、この行動のように、物を  B、 C して見ることだけではなく、 D こと、つまり、物との親密な関係を築くこととの一体化として理解することができる。

四 今の情報社会 とあるが、次の表は、今の情報社会に対する【文章Ⅱ】の筆者の解釈と主張を整理したものである。  E、 F にはそれぞれどのような言葉が入るか。  E、 F に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、後のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

主張	解釈
F	E
<input type="text"/>	今の情報社会は、 <input type="text"/>
ができれば、今まで見えなかったものが見えるようになるかもしれない。	社会である。

ア F E      イ F E      ウ F E      エ F E

仮想空間における鑑賞や体験の機会が増加し、現実世界の価値をないがしろにするようなもの見方に陥りやすい個々が直面する課題について、様々な手段を用いて情報を収集し、多角的に分析したうえで直接課題と向き合うことインターネットによって対面コミュニケーションの機会が減少し、人々の間に意識の壁が生じて社会的スキルが低下しやすい自己の中にある意識の壁を取り払って目の前の物や人のことを際限なく観察し、様々な観点から思考すること

多様な情報にアクセスできるようになったことで、物事に対して他者の価値判断に便乗し、自己の理解が浅くなりやすい気になる物事や人物に対して、あらゆる角度から時間をかけて念入りに対象を見つめ直したり、考えたりすること

どんな分野の事でも容易に検索できるため、社会現象や自然現象などの事象について固定観念にとらわれやすい思考の壁を打破するため、対象をじっくりと丁寧に観て、見えたものをそのまま素直に言葉として表現すること

五 【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】を読んだYさんは、【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】に表れている物との関わり方の違いを踏まえて自分の考えをまとめる過程で、生成AIを活用した。次の  は、そのときの【質問と回答の一部】である。これを読んで、後の(1)と(2)の問いに答えなさい。

【質問と回答の一部】

20XX年○月○日

《質問》  
【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】に表れている物との関わり方の違いについて教えてください。

《回答》  
もちろんです！  
【文章Ⅰ】では、自己と物との関係の親密さについて、物を <sup>4</sup> 観賞することで、その物の真の価値が見えてくることを強調しています。  
【文章Ⅱ】では、物を <sup>5</sup> 鑑賞することで、その物の本質を見極めることが重視されており、無心に物に向き合う小林先生のエピソードを取り上げて論じています。  
他にも何か質問があれば教えてください。

※Yさんは、保護者の同意を得たうえで、生成AIを利用している。

(1) 《回答》を基に【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】を読み直したYさんは、<sup>4</sup> 観賞 の部分が誤っていること、また、<sup>5</sup> 鑑賞 の部分は、より適切な言葉があることに気づいた。それぞれどのような言葉に直すのが適切か。<sup>4</sup> 観賞 は【文章Ⅰ】の中から、<sup>5</sup> 鑑賞 は【文章Ⅱ】の中から、最も適当な言葉をそれぞれ漢字二字でさがし、抜き出して書きなさい。

(2) 自己と物との関係の親密さ とあるが、Yさんは、《回答》に具体的な説明がないため、どのように親密な関係を築けばよいのか疑問に思い、【文章Ⅰ】を読み直した。【文章Ⅰ】の筆者は、日常生活において自己が物との親密な関係を築くためには、どのようなことが必要であると述べているか。距離感という言葉を使って、三十字以上、四十字以内で書きなさい。

六 【文章Ⅱ】には、言葉を大切にしている小林先生の様子が書かれている。あなたは、言葉にはどのような力があるか。次の1、2の条件に従って書きなさい。  
(解答用紙Ⅱに書きなさい。)

- 条件 1 言葉の力を感じた具体的な経験を入れて書くこと。  
2 二百四十文字以内で書くこと。

(終わり)